SOROPTIMIST
Best for Women

国際ソロプチミスト神戸東
2018 年度 第 3 回 理事会メンバー・委員会委員長合同会議報告書

2019 年 6 月 20 日（木）13:40～14:30
於:ホテル竹園　3F コスモス
司会進行　平高セクレタリー

1. 開　会　宣　言　　乙　守　会　長
2. 会　長　挨　拶　　乙　守　会　長
3. 出　席　確　認　　平高セクレタリー

理 事 会

乙守会長、中村副会長、原副会長、平高セクレタリー、藤尾 C.セクレタリー、中田 A.トレジャラー
小松理事、安井理事　　＊欠席/水垣トレジャラー

委 員 会　　代・・・代理出席者

[常 任 委 員 会]

＜奉仕プログラム活動分野＞

奉仕プログラム委員会	八馬委員長	国際親善と理解活動委員会	河合委員長
アワード委員会	小松委員長	スポンサーシップ委員会	代中村委員

＜テクニカル機能分野＞

会合企画委員会	原　委員長	財務委員会	代八馬副委員長
規約決議委員会	代平高委員	ＳＯＬＴ委員会	長谷川委員長
メンバーシップ委員会	代中村委員	広報委員会	代平高セクレタリー
出席委員会	小倉委員長	歳入委員会	宮内委員長
ソロプチミスト日本財団委員会		代原　委員	

[特別委員会]　奉仕事業基金特別委員会　　藤尾委員長

4. 資　料　確　認　　藤尾 C.セクレタリー

配 付 資 料

＊2018 年度第 3 回理事会メンバー・委員会委員長合同会議　日程
＊SOLT 委員会・S 日本財団委員会の報告書（差替えを配付）

持 参 資 料

＊2018 年度「委員会年間活動報告書」　※14 委員会
＊2018 年度「クラブカレンダー」活動計画と予算を含む
＊その他の会員必携資料

5. 委 員 会 報 告

※各委員長から 2018 年度活動報告（中間報告以降）次年度への申し送り事項等、質問・ご意見を伺いながら進行する

[常 任 委 員 会]

＊奉仕プログラム活動分野　　進行　原副会長

奉仕プログラム委員会　　八馬委員長

2 月以降、さと映画実行委員会、兵腎協 30 周年記念講演会実行委員会、他委員会が開催された大きな活動は以下の通り
5 月 25 日「さとにきたらええやん」チャリティー上映会開催

6 月 15 日「第 33 回甲寿園訪問」
6 月 23 日兵庫腎疾患対策協会 30 周年記念講演会『コシノヒロコ』共催（予定）
会計報告（別紙参照）　※実行されていない活動、新規活動実行状況を記載
継続活動　兵庫腎疾患対策協会支援バナー公告　事業費 32,400 円（6 月予定）
スペシャルオリンピックス日本・兵庫　寄付 30,000 円（6 月予定）
ウイメンズネットこうべ年会費　寄付 10,000 円（6 月予定）
引継活動　連盟プロジェクト「夢を拓く」＊活動はできなかった　予算 100,000 円（未消化）
えくぼハウス維持管理費＊活動が 3 月で終了　予算 12 万の内 40,000 円(未消化)
新規活動　チャンスフォーガールズ活動　＊記念品贈呈 7,000 円→7,214 円（若干オーバー）
ユニバーサルマナー普及活動　＊活動はできなかった　予算 50,000 円（未消化）
ひょうごセルフヘルプ支援センター　予算 30,000 円→32,542 円（若干オーバー）
40 周年に向けての講演会等立ち上げ　事業費 300,000 を①②の活動で実行
①さとにきたらええやんチャリティー上映会　予算 150,000 円　実行 130,394 円
②腎協会 30 周年記念講演会　予算 100,000 円　現在 70,000 円弱を消化

国際親善と理解活動委員会　河合委員長
リジョン分科会（4/23）では異文化交流を強調されていた。今期の新規活動として日本国内の他リジョンとの交流を考えていたが活動はできていない。クラブではグリーティングカードしかしていなかったが、FL のレホヴォットから台風のお見舞いが届いたことは、少しは中身の濃い交流になっていると感じた

アワード委員会　小松委員長
リジョン顕彰応募者に 2 名を推薦したが選外となった
クラブでの選外応募者 2 名（楊燕秋さん、酒葉奈々さん）　予算 30,000 の内　6,000 円消化
7 月年次会合においてクラブ内表彰を予定　予算 180,000 円
・夢を生きる：女性のための教育・訓練賞　清本昌子氏（兵庫県立総合衛生学院）　100,000 円
・女子大学生奨学金給付　桑辺七穂氏（兵庫県立大学環境人間学部）　50,000 円
ウイメンズネットこうべ正井禮子氏（講演会に出席)、兵庫県立総合衛生学院の副学長を訪問し今年度のお礼と来期についてのお願いをした

スポンサーシップ委員会　代中村委員
5 月 13 日に S クラブユース・フォーラム開催（リジョンユース・フォーラム選考を兼ねる）
代表生徒は金賞（生田萌唯さん）から銀賞（佐伯有砂さん）受賞者に変更になった
7 月 24－25 日リジョンユース・フォーラムに乙守会長、中村委員が出席（予定）
申し送り事項：分科会で話があったように、クラブの支援金の使い道に関して、奉仕活動の為に使い、年度内に使い切ることを学校側に伝える

＊テクニカル機能分野　進行　中村 副会長

会合企画委員会　原　委員長
報告書にあるように理事会・例会でクラブカレンダーの修正・追記を行った、他は特になし

財務委員会　代八馬副委員長
2019 年度暫定収支予算書（案）は 6 月例会で説明、7 月例会審議での承認をお願いする
申し送り事項：特別会計/奉仕寄付金「連盟プログラム」$500 相当がここ最近、財務委員会の予算に上がっている（連盟の資金調達委員会が担当していた為か）本来は奉仕プログラム委員会が組む予算かと思われるので、来期の確認事項としたい

規約決議委員会　代平高副委員長
リジョン分科会に出席し、クラブ細則の修正を戻されたので 5 月例会で報告した
申送り事項：クラブ細則の改正は、次年度委員会で対応して頂く

SOLT 委員会　長谷川委員長

7/18 次期理事会メンバーのリーダーシップトレーニング開催予定

※残念ながら新会員教育はできなかった

申し送り事項：SOLT ミニ教育「指名委員会」を 4 月例会で行ったが、もう少し早い時期（3 月）にするのが良いと申し送る

メンバーシップ委員会　代中村副委員長

新会員入会候補者と面談を行ったが、今期入会には至らなかった

広報委員会　代平高レクレタリー

活動報告を順次クラブウエブサイトに更新。甲寿園訪問、講演会（6/23）を更新予定

会計報告　追加サーバードメイン名更新料　3,456 円（6 月予定）

出席委員会　小倉委員長

本日委員会を開催し、7 月年次会合・懇親会の打合せを行った

※休会・欠席会員が多い為、例会費予算に対し実行額が少ない

歳入委員会　宮内委員長

5 月現在のニコニコ箱集計は 477,096 円（前年度最終 459,064 円）と増収となっている

委員長に 8 月最終集計の提出をお願いした

ソロプチミスト日本財団委員会　代原 委員

2/25（ドリーム賞）3/4（社会ボランティア賞）応募書類をセクレタリーより提出

7 月例会で「社会ボランティア賞」クラブ表彰金贈呈予定　30,000 円

[特 別 委 員 会]

奉仕事業基金特別委員会　藤尾委員長

4 月に委員会を開催し「第 14 回クローバー賞」は山口真史氏（一般社団法人 new-look 代表理事）に決定、5 月例会で承認された

委員長が 7 月例会欠席の為、副委員長に受賞者の接遇と表彰会でのご紹介をお願いし、表彰金 300,000 円は八代委員が準備

申し送り事項：①前年度会長が次年度委員長になることが慣例であったが、来期は経験豊かな先輩の会員に委員長をお願いする

②今年度、クローバー賞の候補に挙がっていた団体：女人舞楽「原笙会」を次年度の候補として検討して頂くことを申し送る

③CFC は関西で活動しており、教育関係でボランティアをされている方、団体をよくご存じなので今後の窓口として引き継ぎたい

6. 協 議 事 項　乙 守 会 長

・2018 年度委員会年間活動の総括と申し送り事項について

・クローバー賞の広報（報道関係に連絡等）についてを確認

広報委員長が不在の為、神戸新聞、産経新聞の担当者を確認（担当者が変更の場合もある）した上で 7 月に各報道機関へご案内（藤尾作成済）を FAX（小路）する。1 週間前に電話を入れる等

・提案事項：新会員が入会されたら全員にお声がけして親睦会を開いたらどうか（他クラブでもされている様です）メンバーシップ委員会に申し送る

・次年度への引継ぎに関して：次年度第 1 回委員会が開催されるまでに、USB・ファイル・引継ぎ事項（申送り事項を記載）等を次年度委員長へ引き継ぐ（CDR 保存資料も可/委員長の裁量に任せる）

年度初めにお渡しした USB の中にある年度別フォルダーに資料を保存（2017 年度以降）する

年度初めに 2016 年までの資料を整理しデータ保存の仕方を決めたが、現在の進捗状況を確認する

・年間活動報告について：クラブウエブサイト会員ページに掲載するので、最終記載事項が残っている委員会（出席・歳入）は年度終了後に再提出をお願いする

・アワード委員会からのお願い事項　　※次年度委員会へ申し送る

①ウイメンズネットこうべ正井氏からのお願いとして、自分たちの活動を知ってもらう機会として講演会をする先（企業等含めて）を紹介してほしい

②兵庫県立総合衛生学院からのお願いとして、この度福祉学科を創設されたので宣伝になるような機会として講演会を開催してほしい

7. 閉　会　宣　言　　乙　守　会　長

記録者　平高綾子